

事務事業コード	772415	事務事業名	学校保健会運営支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	保健体育課
施策名	1	学校教育の充実		グループ	給食保健体育グループ
基本事業名	3	体育・保健指導の充実		電話番号	42-1111
				内線番号	5098
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 18 年度~)
	項	7	保健体育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	4	学校保健体育費	根拠法令・条例等	霧島市学校教育推進事業補助金等に関する取扱要領
コード	772415				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

<p>手段 (事務事業の概要)</p> <p>霧島市学校保健会に補助金を交付し、学校保健会が行う学校保健の振興及び児童生徒並びに教職員の健康の保持増進の活動を支援している。(市の活動) 学校保健会に補助金を出すための手続き(申請書の提出、交付決定、実績報告書、補助金交付)を行う。(団体の活動) 市学校保健研究協議会の開催、啓発活動を行う。また、児童・生徒に、健康に関するポスターの募集を行い審査する。表彰については、健康福祉まつりで行う。市学校保健会とは、健康の保持増進を目的として設立した団体。市内医師会、歯科医師会、薬剤師会、校長会、養護教諭、栄養教員、PTA等を会員として運営されている団体である。</p>								
補助金・負担金の交付先	霧島市学校保健会			補助金の対象経費	霧島市学校保健会の運営に要する経費			
活動指標 (事務事業の活動量)				単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	会議や研修会等の開催回数			回	5	5	5	5
イ	啓発チラシ配布枚数			部	14,000	14,000	14,000	14,000
ウ								
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	児童生徒		児童生徒数	人	12,136	12,028	11,752	11,596
イ	教職員		教職員数	人	843	854	902	902
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	健康に対する意識を高める		研究協議会に参加して理解が深まった参加者の割合	%	80	80	85	90
イ								
ウ								
結果 (どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	自分自身の健康管理ができるようになる		健康診断で要注意・要治療となった児童・生徒の割合	%	4.0	4.0	3.0	3.0
イ								

(2) 事業費

単位：千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度(決算)	450	22年度(予算)	450	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？	
	補正予算				合併以前から開始され支援がなされてきた。平成18年4月1日に合併協議により新たに市学校保健会として開始された。			特になし
	予算合計	450	450					
決算額	国庫補助金				この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見		
	県支出金							
	地方債						特になし	特になし
	その他							
	一般財源	450						
支出合計	450							

事務事業 コード	772415	事務 事業名	学校保健会運営支援事業	担 当 部	教育部
				担 当 課	保健体育課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

1	団体名・協議会名								会員数	平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	補助金	450	補助金	450	補助金	450	補助金	450							
霧島市学校保健会										補助金	450	補助金	450	補助金	450
										自主財源	0	自主財源		自主財源	
	対象地区	●								合計	450	合計	450	合計	450
									自主財源率	0%	自主財源率	0%	自主財源率	0%	
2										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区									合計	0	合計	0	合計	0
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区									合計	0	合計	0	合計	0
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区									合計	0	合計	0	合計	0
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区									合計	0	合計	0	合計	0
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区									合計	0	合計	0	合計	0
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区									合計	0	合計	0	合計	0
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区									合計	0	合計	0	合計	0
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区									合計	0	合計	0	合計	0
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区									合計	0	合計	0	合計	0
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計									0 人	補助金負担金合計	450	補助金負担金合計	450	補助金負担金合計	450
										自主財源合計	0	自主財源合計	0	自主財源合計	0
										自主財源率	0%	自主財源率	0%	自主財源率	0%

負担金の状況

単位：千円

1	2	3	4	5	負担金額	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先				
									全国	九州	県	その他	
					負担金額								
					負担金額								
					負担金額								
					負担金額								
					負担金額								
合計						0	0	0	0	0	0	0	0

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	450
補正予算	0
合計	450

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	学校保健研究協議会を開催するなどして、児童、生徒及び教職員の健康に関する意識が高まり、自分で健康管理ができるようになる。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	健康で安全な生活を送ることが出来る基本的な能力や態度を育成することは法律で義務付けられている、市の責務である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は児童・生徒及び教職員、意図は児童・生徒及び教職員の健康増進であるため適切である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	研究協議会の内容を充実することで、より一層自分自身で健康管理をしようという意識の高まりを期待できる。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	児童・生徒及び教職員の学校保健に対する意識が低下する。また、学校医や歯科医、薬剤師との連携が希薄となり、学校保健・安全の推進がしにくくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	主に研修会の講師謝金であり、補助金内で最大の事業をしており削減の余地は無い。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金交付事務がその主な業務内容であり、削減検討余地はない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市学校保健に係る全体的な会議なので公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 学校保健に対する意識を高めるために、大きな役割を果たしている。また、学校間の連携や学校と学校医・歯科医・薬剤師との連携を図る上でも重要な役割を果たしている。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果 会員相互の研修を実施して、児童、生徒の健康意識の高揚を図る。	平成23年度に取り組むべき具体的な内容 自主的に継続して取り組む研究テーマを掲げる。

事務事業コード	772416	事務事業名	小学校体育記録会開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	保健体育課
施策名	1	学校教育の充実		グループ	給食保健体育グループ
基本事業名	3	体育・保健指導の充実		電話番号	42-1111
				内線番号	5098
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 48 年度~)
	項	7	保健体育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	4	学校保健体育費	根拠法令・条例等	
	コード	772416			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
各小学校5・6年生の代表選手が一同に集い、水泳及び陸上記録会を実施することにより、記録・技能・体力・気力の向上を図る。			霧島市小学校水泳記録会 霧島市小学校陸上記録会				
<ul style="list-style-type: none"> 水泳記録会 開催時期・・・7月中旬(夏休み期間中) 開催場所・・・霧島市国分総合プール 運営方法・・・市教委、小学校体育主任会が中心となり運営する 陸上記録会 開催時期・・・10月中旬 開催場所・・・霧島市国分運動公園陸上競技場 運営方法・・・市教委、小学校体育主任会が中心となり運営する 		前年同様	平成22年度計画				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	水泳記録会に出場する児童数	人	474	487	475	460	
イ	陸上記録会に出場する児童数	人	609	639	625	610	
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	霧島市市内小学校5・6年生	児童の参加人数	人	1,083	1,126	1,100	1,070
イ		小5・6の児童数	人	2,747	2,758	2,670	2,704
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	記録・技能・体力・気力の向上を図る	新記録数		4	3	4	4
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	健康な体が育つ	新体力テストにおいて県平均を超えた種目数	%		4.0	4.5	5.0
イ							

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度(決算)	925	22年度(予算)	818	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 霧島市内の児童の体力の実態を数量的に把握するために開始された。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 特になし
	補正予算額		-157				
	予算合計		768		818		
決算額	国庫補助金		0			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他		0				
	一般財源		766				
	支出合計		766				

事務事業 コード	772416	事務 事業名	小学校体育記録会開催事業				担当部	教育部		
							担当課	保健体育課		

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	118		118	118		118	118		118
消耗品費	79		79	81		81	81		81
燃料費									
食料費									
印刷製本費	39		39	37		37	37		37
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料	648		648	700		700	700		700
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	766		766	818		818	818		818

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	766		766	818		818	818		818
計	766		766	818		818	818		818

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	925 千円		
	補正予算	-157 千円		
	第1回 (3月)	▲ 112	第5回	
	第2回		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	▲ 45
予算合計	768 千円			

平成 21 年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	児童が記録会出場を目標に切磋琢磨することで、体力が向上し健康な体が育つ。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	児童の体力向上は国民的課題であるため、市が行うことが妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は小学校5・6年生、意図は小学生の体力向上であり、適切である。
	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	霧島市の小・中学生の体力測定結果は、種目によっては県平均より低いものもあるが、今後の取り組みによって成果向上の余地はある。
B 有効性 評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	霧島市の体育記録会を廃止・休止した場合は、児童の運動の機会及び意欲の低下につながる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	遠方からの児童の送迎費用などが主な事業費であり、削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	霧島市内1箇所で開催し、最低限の職員で対応しており、これ以上の人件費の削減は厳しい。また、対象が児童であり、事故等の責任を考えれば委託は現実的ではない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市内全小学校の5・6年生すべてが対象であり、受益の機会は公平・公正である。
総括	(1)1次評価者(課長)としての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		子どもたちの体力低下が大きな課題となっており、その課題への対応策として必要な事業である。

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1)評価結果にもとづく今後の方向性	(2)廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3)具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
水泳記録会、陸上記録会を開催し、児童の体力向上を図る。	それぞれの大会へ向けた学校の取組事例を全体的に紹介し、特色ある体力づくりへの関心を高める。

事務事業コード	772418	事務事業名	中学校・高校各種大会参加支援事業	担当部	教育部
				担当課	保健体育課
政策名	4	育み磨きあつまちづくり		グループ	給食保健体育グループ
施策名	1	学校教育の充実		電話番号	42-1111
基本事業名	3	体育・保健指導の充実		内線番号	5098
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 5 年度~)
	項	7	保健体育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	4	学校保健体育費	根拠法令・条例等	霧島市学校教育推進事業補助金等に関する取扱要領
	コード	772418			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
中学校・高等学校体育連盟が主催等をする地区大会以上の大会に参加する場合、交通費の2分の1を補助する。宿泊費については、九州・全国大会に参加する場合に2分の1を補助する。ただし、1泊につき7,000円を上限とする。			事務事業の概要と同じ				
			平成22年度計画				
		事務事業の概要と同じ					
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	九州・全国大会への助成件数	件	23	24	25	25	
イ	県・地区大会への助成件数	件	10	11	11	11	
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	大会に参加する生徒	大会に参加する生徒数	人(団体)	2,052	2,763	2,400	2,400
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	競技に集中して取り組む	九州大会以上に出場した部の数	団体	23	24	25	25
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	健康な体が育つ	新体力テストにおいて県平均を超えた種目数	種目		4.0	4.5	5.0
イ							

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	4,050	21年度 (決算)	22年度 (予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
	補正予算額	208				
	予算合計	4,258	5,649			
決算額	国庫補助金	0			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	3,503				
	支出合計	3,503				

事務事業コード	772418	事務事業名	中学校・高校各種大会参加支援事業	担当部	教育部
				担当課	保健体育課

単位:千円	平成21年度(決算)			平成22年度(当初予算)			平成23年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報酬								
2	給料								
3	職員手当等								
4	共済費								
7	賃金								
8	報償費								
9	旅費								
10	交際費								
11	需用費								
	消耗品費								
	燃料費								
	食料費								
	印刷製本費								
	光熱水費								
	修繕料								
12	役員費								
	通信運搬費								
	広告料								
	手数料								
	保険料								
13	委託料								
14	使用料及び賃借料								
15	工事請負費								
16	原材料費								
17	公有財産購入費								
18	備品購入費								
19	負担金補助・交付金	3,503	3,503	5,649		5,649	5,649		5,649
20	扶助費								
21	貸付金								
22	補償補填及び賠償金								
23	償還金・利子・割引料								
24	投資及び出資金								
25	積立金								
26	寄附金								
27	公課費								
28	繰出金								
	計	3,503	3,503	5,649		5,649	5,649		5,649

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	3,503		3,503	5,649		5,649	5,649		5,649
計	3,503		3,503	5,649		5,649	5,649		5,649

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成21年度	当初予算	4,050千円		
	補正予算	208千円		
	第1回(3月)	208	第5回	
	第2回		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	4,258千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	772418	事務事業名	中学校・高校各種大会参加支援事業	担当部	教育部
				担当課	保健体育課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	スポーツへの取り組みが向上することにより健康な体が育つため結びつく。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市立中・高の部活動の推進は市の役割である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	大会に参加するすべての生徒を対象に、競技に専念することを意図として実施しており適切である。
	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	補助制度があることを周知徹底することで、生徒の励みとなり九州大会以上へ進出する部が増える可能性がある。
B 有効性 評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	保護者等の負担が増大し、参加できない生徒が出てくる可能性がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	参加費の補助なので事業費の削減は成果の後退につながる。
C 効率性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事務処理の上で必要な業務を行っている。また正職員以外の職員では難しいと考える。
	D 公平性評価 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	保護者の負担軽減を行うものであり公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	成績が優秀で九州大会以上の大会出場を補助することはもちろんであるが、周辺部の学校については、地区大会への出場に対しても補助をすることで、市全体の部活動支援ができたものと総括している。	

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果 中学校の体育系部活動に優秀な成績を納めた生徒がいる場合、その上位大会出場経費の一部を補助する。補助制度が励みとなり、部活動への取組が活発になる。	平成23年度に取り組むべき具体的な内容 補助制度の存在をPRする。

事務事業コード	772410	事務事業名	学校環境検査事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあいまちづくり		担当課	保健体育課
施策名	1	学校教育の充実		グループ	給食保健体育グループ
基本事業名	5	教育環境の整備		電話番号	42-1111
				内線番号	5098
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 33 年度~)
	項	7	保健体育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	4	学校保健体育費	根拠法令・条例等	学校保健安全法
	コード	772410			
関連計画					

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
各小・中学校・幼稚園等施設のより良い環境のもとで教育を受けることができるように、水質検査(水道水・プール水)・室内空気等環境検査(ダニアレルゲン・ホルムアルデヒド・トルエン)を学校薬剤師の指導のもと実施する。 また、必要に応じ再検査を実施し、不適合箇所への改善に向け、修繕を行ったり指導を行ったりする。			事務事業概要と同じ				
			平成22年度計画				
		前年度と同様					
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	環境検査を行う学校数	校	53	54	55	55	
イ							
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	児童、生徒	児童、生徒数	人	12,136	12,028	11,752	11,596
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	環境ホルモン等に影響されず、かつ、安全な水を利用できる	要再検査箇所数	箇所	0	7	6	5
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	適切な教育環境で教育が受けられる。(教育環境が整う)	十分な環境が整っている学校の割合	%	96	96	100	100
イ							

(2)事業費

単位:千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度(決算)	22年度(予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 園児・児童・生徒の通う施設の環境整備を行う為、当時の学校保健法に基づいて、実施することが義務づけられた。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 特になし
	補正予算額	3,311	2,838		
	予算合計	0			
決算額	国庫補助金	0		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？ 特になし	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	3,245			
支出合計	3,245				

事務事業 コード	772410	事務 事業名	学校環境検査事業				担当部	教育部
							担当課	保健体育課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費	3,245		3,245	2,838		2,838	2,838		2,838
通信運搬費									
広告料									
手数料	3,245		3,245	2,838		2,838	2,838		2,838
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	3,245		3,245	2,838		2,838	2,838		2,838

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	3,245		3,245	2,838		2,838	2,838		2,838
計	3,245		3,245	2,838		2,838	2,838		2,838

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	3,311 千円		
	補正予算			
	第1回 (6月)		第5回	
	第2回 (9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	3,311 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	772410	事務事業名	学校環境検査事業	担当部	教育部
				担当課	保健体育課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	児童生徒が安全で快適に学校生活を送れる環境を提供することは、適切な教育環境の確保に結びついている。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	学校保健安全法に基づき学校環境整備を図る義務が市にはあり、この事業を実施することは妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	すべての児童、生徒を対象に、環境ホルモンの身を守ることを意図として実施しており適切である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	再検査発生件数を皆無とするまで向上余地はある。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	学校教育を実施する中で、適切な環境検査を実施しないことは、児童生徒の健康被害及び健康な体力づくりに障害を生ずる可能性がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在の仕様は必要最低限での実施であり、より良く十分に事業を実施するためには、事業費も不足の状態である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	検査の発注、支払い事務のみの業務内容であり、削減の検討余地がない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	学校環境衛生の整備(教室の空気環境、プール水質検査、水道水質検査等)は、市内全学校を適切な環境水準に整備することであり、全児童生徒へ公平・公正な受益となっている。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	学校の換気の励行等による日常からの環境衛生への積極的な取り組みにより、学校側の環境への知識の習得、意識向上をさらに図る必要がある。また、学校薬剤師とも連携し、効果的な検査を実施することも重要である。

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒ (3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
水質検査・室内空気等環境検査(ダニアレルゲン・ホルムアルデヒド・トルエン)を学校薬剤師の指導のもと実施することにより、学校の適切な教育環境を保つことができる。	再検査発生件数の抑制に努めるため、普段から換気を徹底するなど、学校職員の意識高揚を図る。

事務事業コード	772414	事務事業名	学校遊具施設点検修繕事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	保健体育課
施策名	1	学校教育の充実		グループ	給食保健体育グループ
基本事業名	5	教育環境の整備		電話番号	42-1111
				内線番号	5098
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 33 年度~)
	項	7	保健体育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	4	学校保健体育費	根拠法令・条例等	学校保健安全法
	コード	772414			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
各学校の遊具の設置は古いものが多く、老朽化し危険な状況のものから順次改修又は新設を行う事業である。			修理箇所 の把握及び修繕				
			平成22年度計画				
		前年同様					
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	修繕実施遊具数	件	91	47	30	35	
イ	修繕を実施した小中学校の数	件	38	20	15	17	
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	児童・生徒	児童・生徒数	人	12,136	12,028	11,752	11,596
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	遊具を安全に利用できる	使用禁止措置をとっている遊具の数	組	35	28	23	18
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	適切な教育環境で教育が受けられる(教育環境整備が整う)	十分な環境が整っている学校の割合	%	96	96	100	100
イ							

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	4,500	22年度 (予算)	1,600	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 遊具施設は設置年数が長く、合併時から修理・改修を開始した。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 年を経るたびに改修と修理が増加している。
	補正予算額	-256				
	予算合計	4,244	1,600			
決算額	国庫補助金	0			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
	県支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	4,241				
	支出合計	4,241				

事務事業 コード	772414	事務 事業名	学校遊具施設点検修繕事業				担当部	教育部
							担当課	保健体育課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	4,241		4,241	1,600		1,600	2,000		2,000
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料	4,241		4,241	1,600		1,600	2,000		2,000
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	4,241		4,241	1,600		1,600	2,000		2,000

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	4,241		4,241	1,600		1,600	2,000		2,000
計	4,241		4,241	1,600		1,600	2,000		2,000

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	4,500 千円		
	補正予算	-256 千円		
	第1回(6月)	第5回		
	第2回(9月)	第6回		
	第3回	第7回		
	第4回	第8回		▲ 256
予算合計	4,244 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	772414	事務事業名	学校遊具施設点検修繕事業	担当部	教育部
				担当課	保健体育課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	施設遊具を修理・改修することにより、適切な教育環境の確保に結びつく。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	学校での事故等を未然に防ぐ為にも妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	児童・生徒すべてを対象として、遊具の安全利用を意図としており適切である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	使用禁止としている遊具を減らすことで、本事業の成果を高めていくことは可能である。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	遊具等の老朽化に対応できなくなり、その結果、安心安全な遊具を児童生徒に提供できなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費が限られており、修理できない遊具は使用禁止にしている状況である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員は修繕の発注及び支払い業務を行っているだけであり、現場確認はほとんど学校にお願いしている。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	受益者は市内の児童生徒であり、受益の機会は公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 使用禁止措置をとっている遊具は、年次計画を作成し、大規模修繕あるいは代替品の設置などの区分を明確にして、予算要求をしていく必要がある。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果 年次計画に基づく遊具の修繕を行い、一校一運動の手段を確保する。	平成23年度に取り組むべき具体的な内容 学校遊具の安全点検研修会を開催し、事故の未然防止に努める。

事務事業コード	772216	事務事業名	各地区スポーツ祭開催支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	保健体育課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	スポーツ振興グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	42-1111
				内線番号	5095
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 33 年度~)
	項	7	保健体育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	2	社会体育振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	772216				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)						
<p>市内の各地区ごとに体育祭や駅伝大会、バレーボール、ゲートボール等の大会を開催する事業。運営は市の教育委員会及び各地区教育振興課と各地区実行委員会等が連携して行っている。</p> <p>全地区で大会を開催することで、練習や試合を通して日頃スポーツに取り組んでいない方の参加を促進し、スポーツを楽しんでもらうとともに、住民相互の親睦や地域の結束と融和を深める機会となっている。</p>						
補助金・負担金の交付先	霧島市各地区スポーツ祭等実行委員会		補助金の対象経費	霧島市各地区スポーツ祭等の運営に要する経費		
活動指標 (事務事業の活動量)			単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)
ア	各地区スポーツ祭参加者数	千人		58	89	90
イ						
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)
ア	霧島市居住者及び勤務者	市の人口	人	127,450	127,662	128,640
イ						
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)
ア	スポーツ祭を通して住民相互の親睦が図れる	スポーツ祭を通じて親睦を図れた市民の数	千人	82	119	120
イ						
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)
ア	スポーツ活動に取り組むきっかけが得られる	きっかけづくりの活動(スポーツ・芸術・文化教室等)に参加したのべ人数	人	57,100	61,070	62,684
イ						

(2)事業費		単位：千円		(3)事務事業の環境変化・住民意見等	
	21年度 (決算)	22年度 (予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？		事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	2,547	地域の活性化や親睦と融和を目的に、霧島地区(昭和33年~)・隼人地区(昭和44年~)・福山地区(昭和52年~)・溝辺地区(昭和58年~)・牧園地区(平成9年~)においてスポーツ祭が行われていた。		少子高齢化に伴い、地区によっては選手の選考に苦慮している地区公民館がみられる。
	補正予算				
	予算合計	2,547			
決算額	国庫補助金		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？		この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金		参加者からは存続を望む声が多い。また、体育部長等からは選手集めに苦労しているとの声もある。		特になし
	地方債		霧島地区では昭和33年から続いている歴史ある事業のため、存続を望む声が多い。		
	その他				
	支出合計	2,547			

事務事業コード	772216	事務事業名	各地区スポーツ祭開催支援事業	担当部	教育部
				担当課	保健体育課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	
1	国分地区スポーツ祭運営委員会									補助金	195	補助金	180	補助金	180	
										自主財源	52	自主財源	52	自主財源	52	
	合計									247	232	232	22%	22%		
2	溝辺地区スポーツ祭実行委員会									補助金	358	補助金	311	補助金	311	
										自主財源	18	自主財源	18	自主財源	18	
	合計									376	329	329	5%	5%		
3	横川地区スポーツ祭実行委員会									補助金	200	補助金	180	補助金	180	
										自主財源	0	自主財源	0	自主財源	0	
	合計									200	180	180	0%	0%		
4	牧園スポーツ大会実行委員会									補助金	310	補助金	295	補助金	295	
										自主財源	33	自主財源	33	自主財源	33	
	合計									343	328	328	10%	10%		
5	霧島地区スポーツ祭実行委員会									補助金	410	補助金	380	補助金	380	
										自主財源	0	自主財源	0	自主財源	0	
	合計									410	380	380	0%	0%		
6	隼人町健康づくり生涯スポーツ祭実行委員会									補助金	780	補助金	678	補助金	678	
										自主財源	59	自主財源	59	自主財源	59	
	合計									839	737	737	7%	8%		
7	福山地区スポーツ祭実行委員会									補助金	166	補助金	263	補助金	263	
										自主財源	79	自主財源	79	自主財源	79	
	合計									246	342	342	32%	23%		
8										補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
	合計									0	0	0				
9										補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
	合計									0	0	0				
10										補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
	合計									0	0	0				
計										0人	補助金負担金合計	2,419	補助金負担金合計	2,287	補助金負担金合計	2,287
										自主財源合計	240	自主財源合計	241	自主財源合計	241	
										自主財源率	9%	自主財源率	10%	自主財源率	10%	

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名			平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先				
	負担金額						全国	九州	県	その他	
1											
2											
3											
4											
5											
合計				0	0	0	0	0	0	0	0

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	2,547
補正予算	0
合計	2,547

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	772216	事務事業名	各地区スポーツ祭開催支援事業	担当部	教育部
				担当課	保健体育課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	日頃運動をされていない方がスポーツ祭を通じて親睦を図ることができ、スポーツ祭が運動やスポーツに取り組むきっかけとなっていると考えられる。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がいつでも、どこでも運動を楽しむことができる生涯スポーツの環境づくりを図ることは市の責務であり妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	主に市民が対象であるが、地区や競技によっては地区内の事業所の従業員、学校の教師等も加わっている。意図としては、市民の親睦を図ることがスポーツに取り組むきっかけのひとつになると考えられることから適切である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	大会参加者はどこの地区も固定化しつつあり、参加資格の年代層の幅及び競技種目の見直しが必要であるとされる。参加者数としては、平成21年度より国分地区・横川地区で開催されたばかりであり、今後も増加余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	スポーツ祭を通じて地域の親睦と融和を深められており、廃止されると親睦の機会が大きく減少するとともに、スポーツに親しむ機会が減少し、結果として地域が寂れていくと感じる市民が増えることが想定される。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	賞状やコピー代等の必要最小限の事業費で行っており、削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	最小限の職員で対応しており、削減の余地はない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	大会への参加は、地区公民館を通じて広く呼びかけられており、参加機会は等しくあり公平である。公民館に加入していない方については、大会が地域対抗で行われることから基本的には参加できないが、公民館に加入すれば参加できるため不公平とはいえない。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	大会運営については、平成21年度より行政主体から地域主体になりつつある。しかしながら大会への参加については自発的なものも増加しているが、お願いされての参加が多いようである。そのため誰でも参加できるような又は年代層で参加できるような競技種目への変更も必要ではないか。なお、補助金については、各地区ギリギリの予算で行っていると思われるが、今後自発的な参加が増えた場合、参加料の徴収等も考えていくべきであるとする。	

3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果 各地区スポーツ祭実行委員会への補助金交付、実行委員会への助言、指導を行い、自主的な運営が図られることを期待している。	平成23年度に取り組むべき具体的な内容 実行委員会が主体的に取り組むよう働きかける。

事務事業コード	772215	事務事業名	県地区対抗女子駅伝競走大会支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	保健体育課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	スポーツ振興G
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	42-1111
				内線番号	5095
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 63 年度~)
	項	7	保健体育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	2	社会体育振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	772215				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

<p>手段 (事務事業の概要)</p> <p>鹿児島県内の12地域より女子駅伝選手を選抜し、6区間21.095kmの区間で競走し、各選手のレベルアップを図ることを目的とする大会に対し補助金を交付し、大会を後援する事業。</p> <p>・参加チーム (鹿児島地区・揖宿地区・川辺地区・日置地区・川薩地区・出水地区・伊佐地区・始良地区・曾於地区・肝属地区・熊本地区・大島地区)計12チーム</p> <p>・参加選手 各地区より16名(選手は一般、大学生、高校生、中学生)</p> <p>・コース 霧島市隼人運動場をスタート→鹿児島神宮前交差点→鹿児島神宮入口交差点→木之房交差点→ホテル京セラ前交差点→河川敷→野口橋交差点→下井→野口橋交差点→ホテル京セラ前交差点→鹿児島神宮入口→鹿児島神宮前交差点→霧島市隼人運動場</p>								
補助金・負担金の交付先	株式会社 南日本放送		補助金の対象経費	県地区対抗女子駅伝大会の運営に要する経費				
活動指標 (事務事業の活動量)			単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	交通誘導員設置人数		人	45	63	63	63	
イ	中継所数		箇所	6	6	6	6	
ウ	コース美化距離		km	5	5	5	5	
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	地区対抗女子駅伝大会出場者	駅伝大会出場者数	人	192	192	192	192	
イ	観戦者	市の人口	人	127,716	128,383	128,640	128,868	
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	安全で快適に走れる	怪我や事故をした選手数	人	0	0	0	0	
イ	市民が安全に応援できる環境づくり	安全に応援できた箇所数	箇所	70	70	70	70	
ウ								
結果 (どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	スポーツ活動に取り組むきっかけが得られる	きっかけづくりの活動(スポーツ、芸術、文化活動)に参加者のべ人数	人	57,100	61,070	62,684	64,583	
イ								

(2) 事業費		単位：千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
	21年度(決算)	22年度(予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？		事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	2,430	昭和63年に南日本放送の創立35周年を記念し、鹿児島県の女子駅伝の底辺拡大とレベルアップを図るとともに、鹿児島県の地域興しを目的に開始された。		地域に根付いた駅伝大会として年々沿道応援者が増加している。
	補正予算額	0			
	予算合計	2,430			
決算額	国庫補助金		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？		この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金		住民・関係者より、地元で開催されるため、選手強化を図り上位進出を目指してほしいとの声がある。		特になし
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,430			
支出合計	2,430				

事務事業 コード	772215	事務 事業名	県地区対抗女子駅伝競走大会支援事業	担 当 部	教育部
				担 当 課	保健体育課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	県地区対抗女子駅伝競走大会運営委員会									補助金	2,430	補助金	2,400	補助金	2,400
										自主財源	7,720	自主財源	7,600	自主財源	7,600
										合計	10,150	合計	10,000	合計	10,000
										自主財源率	76%	自主財源率	76%	自主財源率	76%
2										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計										補助金負担金合計	2,430	補助金負担金合計	2,400	補助金負担金合計	2,400
										自主財源合計	7,720	自主財源合計	7,600	自主財源合計	7,600
										自主財源率	76%	自主財源率	76%	自主財源率	76%

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先				
													全国	九州	県	その他	
1										負担金額							
2										負担金額							
3										負担金額							
4										負担金額							
5										負担金額							
合計																	

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	2,430
補正予算	
合計	2,430

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	772215	事務事業名	県地区対抗女子駅伝競走大会支援事業	担当部	教育部
				担当課	保健体育課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	選手が安全で快適に走れるコースづくりを行い、また、市民が安心して応援できる環境を整えることで、多くの観戦者が増えスポーツに取り組むきっかけづくりにつながる。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	県下トップレベルの女子駅伝大会であり、選手が安心して快走できるコースの整備や、中継所の設置、また応援する市民の安全確保のための交通誘導などを考慮すると市が関与しなければならない。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	県内12地区の代表選手及び応援する市民を対象とし、その選手が安心して走れる環境づくりまた、市民が安心して応援できる環境づくりを意図としている。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	県内唯一の大会として位置づけられ、選手が常に最高の実力を発揮できる環境を創出することは本市の使命である。現状の駅伝環境を水準が上限であると考えている。また、市民が安心して応援できる体制のため必要などころに必要なだけ交通警備員やボランティア員を配置している。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	補助金を廃止することで、運営費用等に大きな影響を与えることや、大会の裏方としてコースの清掃や誘導補助がなくなることで本市での開催も困難になることが予想される。結果、他の協力を得られる市町への場所変更も考えられ、霧島市のスポーツ振興にとって悪影響が生じる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本大会はMBCテレビが主催する大会であり、補助金の削減についてはここ数年削減してきている。しかし主催者側からはこれ以上の削減は大会自体の開催を考慮しなければならなくなる旨の回答がきており、削減余地はないものと考えている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	職員以外に体育指導委員や地元ボランティアの協力を得ている大会である。今後も協力体制を拡充し運営することで、将来的には人件費の削減余地はあると思われる。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	大会に出場する選手・大会を応援する市民それぞれに対し公平・公正に費用が支出されている。

総括	(1)1次評価者(課長)としての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	女子にとって県内最大の大会であり選手の育成やレベルアップに寄与している。補助金については、平成22年度までに段階的に見直し検討を行い、減額をおこなっているが、景気停滞による協賛金の減額等もあり大会運営が非常に厳しい状況である。しかしながら23年の伝統ある大会である点、霧島市を広く内外にアピールできる大会である点、また、市民のスポーツ活動への意識高揚につながる大会である点を総合すると、今後も継承・発展させていく必要がある。
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

3 今後の方向性<PLAN>

(1)評価結果にもとづく今後の方向性	(2)廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3)具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
事業主体への補助金交付を行い、大会会場の整備、関与スタッフの手配、当日の運営補助等を行う。身近で行われる県レベルの大会を目の当たりにし、市民のスポーツ活動への意識高揚につながり、また、霧島市を広く内外にアピールできる大会である。	平成22年度と同様。

事務事業コード	772220	事務事業名	縄文の森駅伝大会開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	保健体育課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	スポーツ振興G
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	42-1111
				内線番号	5095
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 3 年度~)
	項	7	保健体育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	2	社会体育振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	コード	772220			
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)						
市民の健康増進とスポーツ交流人口の増大及び上野原縄文の森の幅広い周知拡大を図る。 ・場所 上野原縄文の森 縄文の森の周知に関しては、県が中心に大会参加者への体験学習等行なっている。また、舞鶴なべの無料提供などを別途実施している。 ・種目 ジョギングの部 3.0km (一般男子、一般女子、中学男子、中学女子、小学男子、小学女子) 駅伝の部 一般男子エリート 5区16.2km、一般男子7区9.8km、一般女子・混成・中学男女7区9.8km、小学男女9区9.9km ・参加料 ジョギングの部 一般(高校生以上)2,000円/人・中学生以下1,000円/人 駅伝の部 一般(中学生以上)6,000円/チーム・小学生 4,000円/チーム 主催は、縄文の森駅伝大会実行委員会では補助金を交付している。						
補助金・負担金の交付先	霧島市・上野原縄文の森駅伝大会実行委員会		補助金の対象経費	縄文の森駅伝大会実行委員会の運営に要する経費		
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	駅伝・ジョギング参加者数	人	2,130	2,092	2,200	2,300
イ	ジョギングコース(部門)の数	コース・部門	6	6	6	6
ウ	駅伝コース(部門)の数	コース・部門	8	8	8	8
対象 (誰、何を対象しているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	縄文の森駅伝大会参加者	人	2,130	2,092	2,200	2,300
イ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	ジョギングや駅伝を楽しんでもらう	人	2,130	2,092	2,200	2,300
イ	上野原縄文の森を知ってもらう	人	6,000	6,000	6,500	6,500
ウ	※ジョギングやイベントに参加したら縄文の森を知ることができたと思える					
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる	人	57,100	61,070	62,684	64,583
イ						

(2)事業費

単位：千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

	21年度 (決算)	22年度 (予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	2,207	平成4年3月にハイテク展望台の完成を記念し、多くの市民の方々に楽しんでもらうことを目的にテクノパークで「ハイテク展望台完成記念完走歩大会」として第1回目を開催。	平成7年の第4回大会より協賛金をつり規模拡大している。平成10年3月に上野原テクノマラソンに名称変更。平成15年第12回大会より上野原縄文の森がオープンしたことにより国分縄文の森駅伝へ名称変更。また、20年度より大会名称から国分を省き、縄文の森駅伝大会へと変更。
	補正予算額			
	予算合計	2,207		
決算額	国庫補助金		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金			
	地方債		<参加者>⇒ジョギングへの意見(コースを延長してほしい。)駅伝への意見(区間のタイムを計測してほしい) <関係者>⇒駅伝終了後、抽選会の参加者を増やす方法の検討が必要。縄文の森という場所を考慮し様々なイベントが自然・環境面を考慮するよう工夫が必要。	
	その他			
	一般財源	2,207		
支出合計	2,207	特になし		

事務事業 コード	772220	事務 事業名	縄文の森駅伝大会開催事業	担 当 部	教育部
				担 当 課	保健体育課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

1	団体名・協議会名								平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	霧島市・縄文の森駅伝大会実行委員会								補助金	2,207	補助金	2,500	補助金	2,300
								自主財源	2,367	自主財源	2,400	自主財源	2,300	
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	4,574	合計	4,900	合計	4,600
	●								自主財源率	52%	自主財源率	49%	自主財源率	50%
2									補助金		補助金		補助金	
								自主財源		自主財源		自主財源		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
3									補助金		補助金		補助金	
								自主財源		自主財源		自主財源		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4									補助金		補助金		補助金	
								自主財源		自主財源		自主財源		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5									補助金		補助金		補助金	
								自主財源		自主財源		自主財源		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6									補助金		補助金		補助金	
								自主財源		自主財源		自主財源		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7									補助金		補助金		補助金	
								自主財源		自主財源		自主財源		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8									補助金		補助金		補助金	
								自主財源		自主財源		自主財源		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9									補助金		補助金		補助金	
								自主財源		自主財源		自主財源		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
10									補助金		補助金		補助金	
								自主財源		自主財源		自主財源		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計									補助金負担金合計	2,207	補助金負担金合計	2,500	補助金負担金合計	2,300
									自主財源合計	2,367	自主財源合計	2,400	自主財源合計	2,300
									自主財源率	52%	自主財源率	49%	自主財源率	50%

負担金の状況

単位：千円

1	団体名・協議会名			平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先			
							全国	九州	県	その他
1	負担金額									
2	負担金額									
3	負担金額									
4	負担金額									
5	負担金額									
合計										

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	2,207
補正予算	
合計	2,207

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	772220	事務事業名	縄文の森駅伝大会開催事業	担当部	教育部
				担当課	保健体育課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	参加者が健康づくりやスポーツを楽しむためのきっかけとなる大会であり、政策体系に結びつく。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民の健康づくりの場として大会を行うことにより、健康を維持するよいきっかけであり、また、縄文の森で開催することで、上野原縄文の森を広くPRすることができるため、市が行うことが妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	現在の大会参加者には、霧島市民のみならず駅伝・ジョギングを楽しみたい市外の方も含まれている。年々参加者も増えているイベントであるので、ジョギングや駅伝を楽しんでもらい、上野原縄文の森を知ってもらうという現状の意図を継続することが望ましい。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	参加者や大会関係者の声を十分に検討し、より良い大会運営に心がけ、また、できるだけ広く周知することで参加者を増やすことが可能である。参加者を増やすことによる競技役員への負担についても検討する余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	駅伝やジョギングを楽しむ機会や日頃の成果を計る機会が少なくなる。中学生に関しては、市内で参加できる駅伝大会が無くなる。少年団や会社等で気軽に参加できる親睦の場がなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費は全てが補助金額となる。大会の運営費は市の補助金のほかに、市内の多くの企業や事業所から協賛を頂き運営している。市が補助金を下げることで参加者の負担や協賛者側の負担が増えることが予想される。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	合併後、運営に携わる担当職員が減っている現状にあり、やり方を十分検討しなければ業務時間の削減は困難な状況である。これまでも、中・高校生・体育指導委員など職員以外の方々の協力を得て開催してきた大会である。市職員は、前日、当日の受付、運営だけでなく大会の企画、PR、協賛金の募集活動などの事務全般を担っている。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が主催する唯一のスポーツイベントであり、霧島市及び縄文の森のPRも兼ねたものである。その為公費約50%投入は妥当であり、公平・公正である。参加(見学も含め)することで受益機会は平等であると考え。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本大会は、一般も参加でき、少年団や中学生等のお別れイベントや会社等でのレクリエーション等での参加も多い大会である。また参加人数も昨今の健康ブームもあり少しずつではあるが増加傾向にある。補助金を年々減少させているが、参加料の増額を行うことは青少年の参加が多いことから難しい。毎年挙げられる改善項目については、出来る範囲で改善している。但し、参加者を増やすことについては、一方では競技役員への負担を伴う。その改善策として、計測器の導入が考えられるが、それも費用的に難しい状況がある。
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果 平成22年度は第20回となる大会であり、また市制5周年の記念大会でもある。参加者の増は勿論のこと、記念大会にふさわしいゲストランナーの招致等を行い成果の向上を図る。	平成23年度に取り組むべき具体的な内容 参加者を増やす手立てを講じる。

事務事業コード	772213	事務事業名	学校体育施設開放事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	保健体育課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	スポーツ振興G
基本事業名	2	生涯スポーツ、芸術文化に親しむための環境づくり		電話番号	42-1111
				内線番号	5095
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 40 年度~)
	項	7	保健体育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	2	社会体育振興費	根拠法令・条例等	スポーツ振興法
	コード	772213			
関連計画					

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績			
<p>市民のスポーツ・レクリエーション活動及び体力づくりの場として学校体育施設を学校教育に支障がない範囲で開放する。開放する対象施設は、霧島市内の全ての小・中学校体育施設とし、霧島市内に居住する市民の団体であれば、登録することにより定期的に借りることができる。小学校(屋内32箇所・屋外34箇所)、中学校(屋内13箇所・屋外13箇所) 合計92箇所 申込み方法: 国分地区においては各地区公民館を通じ申し込む。他の地区においては学校へ直接申し込む。 開放時間は学校行事の関係上、学校へ確認。 受益者負担: 国分地区においては公民館、他の地区においては学校へ直接確認。</p>			<p>・利用団体延数: 333団体 ・利用延人数: 243, 599人 ・体育館については、今まで地区により使用料の設定してないところがあったため、条例改正(H22年10月施行)を行い、整合性を図った。</p>			
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	開放した学校の体育施設の数	施設	92	92	93	93
イ						
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	市民	人口	127,450	127,662	128,640	128,868
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	スポーツ活動ができる	延人	223,717	243,599	246,200	246,200
イ		団体	246	333	336	336
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	スポーツや芸術活動を行う環境が整う	%	42.9	42.7	42.0	43.0
イ						

(2)事業費 単位:千円

	21年度(決算)	22年度(予算)
予算額	当初予算額	2,412
	補正予算額	0
	予算合計	2,412
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	2,025
支出合計	2,025	

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
昭和36年に制定されたスポーツ振興法第13条で、学校教育に支障のない限り学校のスポーツ施設を一般のスポーツの利用のために供するように努めなければならないこととされており、これに基づき昭和40年から学校開放施設整備の取り組みを開始した。	体育施設が建設されてから年数が経過しており、整備・改修を要する施設が増えている。
この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか?	この事務事業に対する議会から出された意見
<利用者>⇒利用報告書が複雑なため簡素化してほしい。人口密度の高い地域においては利用頻度が高くなかなか借りられない状況にあるため、どうかしてほしい。	平成21年9月議会で学校開放事業では、夜間に運動場を使用するときは照明料を徴収するが、体育館を使用するときは徴収しない(国分地区)。平等ではないのではないか。

事務事業コード	772213	事務事業名	学校体育施設開故事業	担当部	教育部
				担当課	保健体育課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	1,065		1,065	1,276		1,276	1,306		1,306
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	691		691	866		866	874		874
消耗品費	272		272	376		376	384		384
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費	419		419	490		490	490		490
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	269		269	270		270	270		270
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	2,025		2,025	2,412		2,412	2,450		2,450

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	2,025		2,025	2,412		2,412	2,450		2,450
計	2,025		2,025	2,412		2,412	2,450		2,450

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成21年度	当初予算	2,412 千円		
	補正予算			
	第1回(6月)	第5回		
	第2回(9月)	第6回		
	第3回	第7回		
	第4回	第8回		
予算合計	2,412 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	772213	事務事業名	学校体育施設開放事業	担当部	教育部
				担当課	保健体育課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	生涯スポーツを推進する上で、身近なスポーツ活動の場を提供・開放することが必要である。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がスポーツを通じ健康づくり・仲間づくりをする身近なスポーツ活動の場として利用しているため、公共関与は必要である。また維持管理に要する費用の一部を市が負担することは妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	身近なスポーツ施設を利用したい全ての市民を対象とした事業であるため、現在のままで妥当である。また、スポーツ活動の場の提供を意図としており適切である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	より多くの団体に本事業を活用してもらうことで、成果が向上する。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	300団体以上の利用があり、学校によってはほぼ毎日利用があるため、廃止・休止した場合多くの市民がスポーツをする場がなくなるため影響がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費としては、各学校へ施設の維持管理に要する消耗品費の8千円と管理指導員へ1日あたり150円の報償費を支払っているが、これ以上の削減はできない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	管理指導員への年1回の謝金支払いが主な業務内容であり削減や外部委託の余地はない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	定期的に利用する市民を対象に開放しているため一部の受益者に偏ってはいない。しかし、使用料について合併以前のままで、同じ施設を利用しても使用料の違いがある。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	平成22年度(3月議会)で体育館内の使用料について統一が出来たことは、公平性が図られたと考えるが、夜間照明(屋外)について今後検討を行う必要がある。

3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
新設天降川小学校を含めた学校体育施設の開放を積極的に行い、市民がスポーツ活動を行う上での環境を確保する。使用料は一部(夜間照明)を除き、10月から統一される。	霧島市として学校体育施設開放事業の夜間照明の取り扱いについて、統一した見解又は考え方が必要である。国分地区の各地区自治公民館への委託については、電気料等の不均一化がでる。市で一括管理を行えば、市が行う業務量が増加し、各地区自治公民館も使い勝手が悪くなる。

事務事業コード	772218	事務事業名	総合型地域スポーツクラブ支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	保健体育課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	スポーツ振興G
基本事業名	2	生涯スポーツ、芸術文化に親しむための環境づくり		電話番号	42-1111
				内線番号	5095
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 18 年度~)
	項	7	保健体育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	2	社会体育振興費	根拠法令・条例等	スポーツ振興法
	コード	772218			霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)

総合型スポーツクラブは、だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことのできる環境づくりを展開する団体であり、現在舞鶴中学校・単人体育館を拠点とし、2つのスポーツクラブが、講座やイベント等を行っている。補助については、各クラブの運営状況を見ながら協議していく。
 ・スポーツクラブへの入会申込みは下記のクラブへ直接申し込む。
 国分舞鶴スポーツクラブ事務局(舞鶴中学校内)TEL46-8311
 NPO法人単人錦江スポーツクラブ事務局(霧島市単人体育館2階)TEL55-0188

補助金・負担金の交付先	国分舞鶴スポーツクラブ・NPO法人単人錦江スポーツクラブ	補助金の対象経費	総合型地域スポーツクラブの運営に要する経費				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	クラブによるスポーツ教室の開催回数等	回	1,585	1,809	1,900	2,000	
イ							
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	市民	人口	人	127,450	127,662	128,640	128,868
イ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	気軽にスポーツを楽しむ地域住民が増える	スポーツクラブ会員数	人	1,346	1,623	1,700	1,800
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	スポーツや芸術活動を行う環境が整う	スポーツを行う環境が整っているとする市民の割合	%	42.9	42.7	42.0	43.0
イ							

(2) 事業費		単位：千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等		
	21年度(決算)	22年度(予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？		
予算額	当初予算額	2,668	1,200	平成12年度に当時の文部省が制定した「スポーツ振興基本計画」において地域に密着した住民主体のスポーツ活動への転換が示され、地域を拠点としたスポーツ活動を展開するためクラブ設立に向けての取り組みが始まった。(国分:H18、単人:H15設立)	全国でクラブ設立に向けての取り組みがなされ、地域に密着したスポーツ活動が展開されてきた。	
	補正予算額					
	予算合計	2,668	1,200			
決算額	国庫補助金			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見	
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,900				市のスポーツ振興基本計画を策定し、総合型の位置付けをしてほしい。(H22第1回)
	支出合計	1,900				

事務事業 コード	772218	事務 事業名	総合型地域スポーツクラブ支援事業	担 当 部	教育部
				担 当 課	保健体育課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									会員数	平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山		補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	国分舞鶴スポーツクラブ									321 人	補助金	1,500	補助金	1,200	補助金	1,200
										自主財源	13,947	自主財源	15,924	自主財源	16,000	
			○							合計	15,447	合計	17,124	合計	17,200	
										自主財源率	90%	自主財源率	93%	自主財源率	93%	
2	NPO法人隼人錦江スポーツクラブ									1,302 人	補助金	400	補助金		補助金	
										自主財源	11,827	自主財源		自主財源		
										合計	12,227	合計		合計		
										自主財源率	97%	自主財源率		自主財源率		
3											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
4											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
5											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
6											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
8											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
9											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
10											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計										1,623 人	補助金負担金合計	1,900	補助金負担金合計	1,200	補助金負担金合計	1,200
											自主財源合計	25,774	自主財源合計	15,924	自主財源合計	16,000
											自主財源率	93%	自主財源率	93%	自主財源率	93%

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									負担金額	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先			
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山					全国	九州	県	その他
1										負担金額							
2										負担金額							
3										負担金額							
4										負担金額							
5										負担金額							
										合計							

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	2,668
補正予算	
合計	2,668

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	スポーツクラブへの支援は、地域で日常的なスポーツを気軽に楽しむ種の環境づくりを支援するものである。スポーツクラブが地域に溶け込むことによりスポーツを楽しめる環境が整うため政策体系に結びついている。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	企業・行政が仕掛けるスポーツ活動から地域に密着した住民主体のスポーツ理解へと転換する施策が国から示され、これを行政が支援することは妥当である。総合型地域スポーツクラブの設立当初は、会員も少なく安定的な収入確保ができないため運営面での支援が必要である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市内に2つのスポーツクラブがあり、現在その2団体の会員を対象としているため対象・意図は適切と思われる。今後、他の地域においてスポーツクラブが発足した場合、対象拡充するべきと考える。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	クラブが安定した財政基盤を維持し続けるためには、会費の継続収入が最も重要である。クラブを維持しつづけていくためには広報活動を継続し新規会員獲得及び継続会員の確保に努力しなければならない。努力し続けることで成果の現状水準は向上するものと思われる。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	補助金を廃止することで運営費が削減されるため、安定した会員数が確保できなければクラブそのものに影響があると思われる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	毎年会員数は増加しており、安定的な会費収入が確保されることで補助金の削減は可能である。(但し3年後(H24年度)は運営状況による再検討が必要である。)
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	クラブ自身が安定財産基盤を整え自主運営が可能となればこれまで市職員が行ってきた補助金等に関する事務が不要となり人件費は大幅に削減される。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	補助金はクラブを育成するための補助金であり、補助金及び会費によりクラブは様々なスポーツ環境を整えている。クラブは市内に2地区しかないが、受益者は会費を払うことでスポーツを楽しむ機会を得ているため公平性は確保されていると思われる。
総括	(1)1次評価者(課長)としての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反省点) 総合型スポーツクラブは文部科学省が「スポーツ振興計画」の中で必要性和市町村での位置付けが示されており、地域住民の健康づくり及び生涯スポーツには必要不可欠なものとされておりまして他地区での展開も考えていかなければならない。また、補助金については、現在2団体へ助成しているが運営状況等をみながら検討していく必要がある。なお、行政としても運営面でもう一步踏み込んだ支援が必要であると考え。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性<PLAN>

(1)評価結果にもとづく今後の方向性	(2)廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3)具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
補助金については、隼人錦江スポーツクラブ、国分舞鶴スポーツクラブの運営状況を見ながら予算の範囲内で補助していく。また、未設置地区についての必要性等について、研究を行う。	補助金については、国分舞鶴スポーツクラブの運営状況を検証し、H24年度以降の補助について検討を行う。また、基盤強化のための事業の導入等について、協議を行う。なお、未設置地区については、H22年度の結果を受け、設置等についての協議を行う。

事務事業コード	772210	事務事業名	スポーツ少年団育成事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	保健体育課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	スポーツ振興グループ
基本事業名	3	スポーツ、芸術文化団体の育成		電話番号	42-1111
				内線番号	5095
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 40 年頃~)
	項	7	保健体育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	2	社会体育振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	772210				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)								
<ul style="list-style-type: none"> 目的・・・スポーツを通して青少年の健全な心身を鍛錬するために結成された単位スポーツ少年団の育成指導及び連絡調整を図る。 内容・・・団、団員、指導者の登録業務、育成費の支給、少年団各種大会の助成、県及び地区交歓大会・募金活動等への団派遣、市内競技別大会の実施 各単位スポーツ少年団登録事務・・・登録料は団員1人700円(日本スポ少300円・県スポ少300円・市スポ少100円)、単位団1団(市スポ少1,000円)であり、22年度の団登録受付期間は4月21日～5月31日まで、追加登録受付期間は6月1日～7月17日までである。 各単位スポーツ少年団育成費支給事務・・・団員1人300円、1団12,000円の積算で支給 霧島市スポーツ少年団主催事業の実施・・・霧島市スポーツ少年団フェスティバル(競技別大会)の実施等 スポーツ少年団活動領域にかかる各事業への協力・・・県競技別交歓大会・地区交歓大会・歳末たすけあい募金活動・体力テスト等への参加 スポーツ少年団事務局の窓口 霧島市教育委員会 保健体育課 								
補助金・負担金の交付先	霧島市スポーツ少年団			補助金の対象経費	霧島市スポーツ少年団の運営に要する経費			
活動指標 (事務事業の活動量)				単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	指導育成研修会・交歓大会・フェスティバル数	回			3	4	4	4
イ	競技種目数	種目			14	14	14	14
ウ								
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	霧島市スポーツ少年団員	登録団員数		人	1,936	1,965	1,650	1,650
イ	霧島市スポーツ少年団単位団	単位団数		団	98	95	95	95
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	基礎体力が向上する	基礎体力が向上した団員数		人	未把握	未把握	825	825
イ	奉仕活動等へ参加できる	奉仕活動をした団員数		人	173	266	270	270
ウ	スポーツへの関心度が向上する	スポーツへの関心度が高まった割合		%	未把握	未把握	80	90
結果 (どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	スポーツ活動を通じ互いに交流することで親睦を図る。	スポーツ団体・組織の数		団	213	128	145	145
イ								

(2) 事業費

単位：千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度(決算)	1,904	22年度(予算)	1,865	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？	
	補正及び流用	365			きっかけは、スポーツを通じ仲間づくりや青少年期におけるスポーツの楽しさを知る機会を増やすことを目的として開始。スポーツ少年団への補助を開始した時期は昭和40年頃。			少子化の傾向にあるため、一単位団の団員数が伸び悩んでいる。
	予算合計	2,269		1,865				
決算額	国庫補助金					この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見	
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	2,269						競技種目によっては団員の確保が難しく単位団としての活動ができないものがある。
	支出合計	2,269						

事務事業 コード	772210	事務 事業名	スポーツ少年団育成事業	担 当 部	教育部
				担 当 課	保健体育課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

1	団体名・協議会名								会員数	平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	補助金	2,269	補助金	1,865	補助金	1,865	自主財源	666		自主財源	391	自主財源	391		
霧島市スポーツ少年団									合計	2,935	合計	2,256	合計	2,256	
	対象地区	●							自主財源率	23%	自主財源率	17%	自主財源率	17%	
2									補助金		補助金		補助金		
	対象地区								自主財源率		自主財源率		自主財源率		
3									補助金		補助金		補助金		
	対象地区								自主財源率		自主財源率		自主財源率		
4									補助金		補助金		補助金		
	対象地区								自主財源率		自主財源率		自主財源率		
5									補助金		補助金		補助金		
	対象地区								自主財源率		自主財源率		自主財源率		
6									補助金		補助金		補助金		
	対象地区								自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7									補助金		補助金		補助金		
	対象地区								自主財源率		自主財源率		自主財源率		
8									補助金		補助金		補助金		
	対象地区								自主財源率		自主財源率		自主財源率		
9									補助金		補助金		補助金		
	対象地区								自主財源率		自主財源率		自主財源率		
10									補助金		補助金		補助金		
	対象地区								自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計									補助金負担金合計	2,269	補助金負担金合計	1,865	補助金負担金合計	1,865	
									自主財源合計	666	自主財源合計	391	自主財源合計	391	
									自主財源率	23%	自主財源率	17%	自主財源率	17%	

負担金の状況

単位：千円

1	団体名・協議会名			平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先				
	負担金額						全国	九州	県	その他	
2				負担金額							
3				負担金額							
4				負担金額							
5				負担金額							
				合計							

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	1,904
補正及び流用	365
合計	2,269

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		流用	(2月)
第3回		第6回			365

事務事業コード	772210	事務事業名	スポーツ少年団育成事業	担当部	教育部
				担当課	保健体育課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	スポーツ団体の育成として政策体系に結びついている。また、奉仕活動やスポーツへ関心を持つことで、団体に所属し、様々なイベントを通し、親睦を図り、仲間を増やすことができるので、意図することが結果に結びついている。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	子供の基礎体力の低下やいじめなどが今日の社会問題になっているため、目的である健全な心身の鍛錬のために市が行うべきである。そのために交歓大会やその他スポーツ大会を実施するため、費用が必要になる。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	スポーツ少年団員を対象としているが、指導者の育成も視野にいられているため、対象に追加すべきかの検討を行ったが、指導者協議会は自発的育成母集団であり、別途事業として捉えるべきであるため本事業では、現対象・意図で適切であると判断した。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	21年度の団員登録実績は、市内の全児童・生徒の約10分の1である。少子化を考えた場合、今後は団員数の増は余り望めない。しかし、成果指標として、団員の登録割合を入れて考えれば、成果向上の余地が出てくるのではないかと。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	少年期の育成で、体力向上や親睦を図り仲間を増やすことは成長していく中で大切なことである。少年団育成を廃止・休止した場合そのような体力向上や仲間作りの場を少なくしてしまうこととなり、目的である健全な心身の鍛錬の場をなくしてしまうことになる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	少年団育成のための補助金であり、削減することで健全育成に要する費用も同時に削減しなければならなくなるため、成果は下がることになり、現時点で削減は困難である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	日本スポーツ少年団や鹿児島県スポーツ少年団との連携や市内の各施設や各競技団体との連携、大会等の把握など調整事務が多く、委託するより職員が行ったほうが効率が良い。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	登録料や育成費等、特に事業の内容が一部の受益者に偏っていることもなく、受益者負担は公平・公正であり問題はないものと思われる。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 少子化により団員増は厳しい状況にあるが、その中で団員数の増が図られたことは評価できるものとする。また、補助金についても年々減少させているが、運営を考えるとこれ以上の削減は厳しい状況である。今後は今まで以上の指導者協議会との連携が必要となる。
	A 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
団体へ補助金を交付し、団員の交流の場づくりを支援することで、競技の枠を超えた交流が促進できる。	指導者を対象に加え、研修会の開催に力を入れる。

事務事業コード	772212	事務事業名	各種スポーツ大会出場者支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	保健体育課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	スポーツ振興G
基本事業名	3	スポーツ、芸術文化団体の育成		電話番号	42-1111
				内線番号	5095
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 30 年頃~)
	項	7	保健体育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	2	社会体育振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	772212				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)							
県予選を勝抜き、九州大会・全国大会への出場が決定しているチーム又は、県選抜の一員として九州大会・全国大会への出場が決定している個人へ補助金を支給する。 ・補助の対象 (1)市内の小・中学校の児童・生徒及び団体(日本スポーツ少年団登録者及び団体、財団法人日本中学校体育連盟加盟校の部活動を除く。)(2)市内に居住する高等学校の生徒、社会人及びその団体(財団法人全国高等学校体育連盟加盟校の部活動、財団法人日本高等学校野球連盟加盟校の野球部を除く。)(3)前(2)に掲げるもの意外に市長が交付対象と認めるもの及び団体 (4)(1),(2)に規定する児童並びに生徒の引率者(最低人員) (5)補欠として出場する場合は、その出場する大会要綱等に定められた補欠人員。 ・補助金の額 九州大会(団体)30,000円、(個人)5,000円 全国大会(団体)50,000円、(個人)10,000円 県内開催時(団体)10,000円、(個人)3,000円・九州・全国大会が県内開催時の場合(平成22年度から成果指標を変更する。)							
補助金・負担金の交付先	各種スポーツ大会出場団体・出場者		補助金の対象経費	各種大会出場に要する経費			
活動指標 (事務事業の活動量)			単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	補助を行った件数	件		28	33	40	45
イ							
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	九州・全国大会出場者	九州・全国大会出場チーム	団体	23	25	28	30
イ	九州・全国大会出場者	九州・全国大会出場個人数	人	5	8	12	15
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	出場経費の個人負担が軽減される	補助を行った件数	件	28	33	40	45
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	スポーツを通じ互いに交流することで親睦を図る	スポーツ、芸術文化団体・組織の数	団体	213	128	145	145
イ	スポーツ活動に取り組む仲間が増える	団体・組織の会員数	人	15,899	15,675	16,725	17,231

(2)事業費 単位：千円 (3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	585	1,086	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
	補正予算額	298			
	予算合計	883	1,086		
決算額	国庫補助金			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	883			
支出合計	883			<出場者>⇒予算額を上げてほしい。	特になし

事務事業コード	772212	事務事業名	各種スポーツ大会出場者支援事業	担当部	教育部
				担当課	保健体育課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	各種スポーツ大会出場団体・出場者									補助金	883	補助金	1,086	補助金	925
	対象地区	●								自主財源		自主財源		自主財源	
										合計	883	合計	1,086	合計	925
2										補助金		補助金		補助金	
	対象地区									自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
3										補助金		補助金		補助金	
	対象地区									自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
4										補助金		補助金		補助金	
	対象地区									自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
5										補助金		補助金		補助金	
	対象地区									自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
6										補助金		補助金		補助金	
	対象地区									自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
7										補助金		補助金		補助金	
	対象地区									自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
8										補助金		補助金		補助金	
	対象地区									自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
9										補助金		補助金		補助金	
	対象地区									自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
10										補助金		補助金		補助金	
	対象地区									自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
計										補助金負担金合計	883	補助金負担金合計	1,086	補助金負担金合計	925
										自主財源合計		自主財源合計		自主財源合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名			平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先				
							全国	九州	県	その他	
1	負担金額										
2	負担金額										
3	負担金額										
4	負担金額										
5	負担金額										
合計											

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	585
補正予算	298
合計	883

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	(2月) 298
第3回		第6回			

事務事業コード	772212	事務事業名	各種スポーツ大会出場者支援事業	担当部	教育部
				担当課	保健体育課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	九州大会、全国大会出場チームへ補助金を交付することは、選手同士の交流が促進され、スポーツを通じて親睦を深めることに結びつく。
	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本市民及び本市団体等でスポーツを行う者のうち九州・全国大会等に出場できるすぐれた選手の育成のため補助金を交付するもので、大会参加者の個人負担の軽減及び競技力向上につながるため市が行う必要がある。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	現在、九州・全国大会への上場者を対象としており、対象範囲は適切と考える。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	当該事業を継続していくことで、市民の間に制度が定着し、スポーツへの関心が高まっていく。
	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	現在の補助金で大会参加者の個人負担が軽減されているが、廃止することにより個人負担は増える。努力してつかんだ九州・全国大会へのチャンスを生かすため、参加者に係る個人負担を少しでも軽減させることにより無理なく出場することができる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事業については、県予選を勝ち抜いて九州・全国大会へ出場権を得るチーム・個人がほとんどであり、その年で出場者は異なるため事業費の削減は難しい。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	業務時間の削減等については毎年、九州・全国大会への上場件数が違うため削減の余地のある・なしはつけられず、また、事務内容が補助金申請等の事務手続のため委託等はできない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	県予選等を勝ち抜き、九州・全国大会等へ出場する個人・団体であれば誰でも対象となるため公平性は保たれている。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 九州大会や全国大会出場への目標を持ちスポーツ競技を行うことは、スポーツ振興や競技力向上に結びつくため大切なことである。また、それら大会への上場は霧島市の代表として出場するものであり、その選手がやがては日本代表として活躍すれば、スポーツをする人の励みになり、きっかけづくりへとつながる。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果 全国、九州大会参加者の支援を行うことで、市民全体のスポーツへの関心が高まることが期待される。	平成23年度に取り組むべき具体的な内容 引き続き、全国、九州大会出場者の支援を行う。